文化会館復興へ演奏会

宮古で24日 弦楽披露し募金も

「ストリングカルテット響（ひびき）」のチャリティーコンサートは24日、宮古市山口1丁目の山口公民館で開かれる。国内外で活躍する弦楽四重奏メンバーが、東日本大震災で被災した同市磯鶏沖の市民文化会館の復興を願い募金を呼び掛ける。

響を聴く会（熊谷利信代表）が主催。2006年から年1回演奏会を開催していたが、当初予定していた会場の市民文化会館が被災したため、復興を応援する無料演奏会に切り替えた。曲目も子どもから大人まで親しみやすい内容に変更した。

メンバーは大宮臨太郎さん（バイオリン）、宇根京子さん（バイオリン）、亀井彩乃さん（ビオラ）、長瀬夏嵐さん（チェロ）の4人で一流の若手奏者ばかり。大宮さんと宇根さん、長瀬さんは05年、指揮者の小沢征爾さんが率いたコンサートキャラバンで宮古市内にホームステイした。その縁で、同市で演奏会を開くようになった。

宇根さんは「音楽の力で少しでも元気になっていただけるように願っている」と語り、熊谷代表も「避難生活などでつらい日々を送っている方々にも心を癒やしてほしい」と来場を呼び掛ける。

当日は午後2時開演（同1時半開場）。入場無料で整理券が必要。問い合わせは熊坂内科医院（0193・63・8123）かリラパークこなり（0193・62・6523）へ。

宮古市民文化会館復興を掲げるチャリティーコンサートのチラシ

浄土ケ浜観光の足に

宮古 バス無料運行始まる

浄土ケ浜を訪れた観光客に利用してもらうボンネットバス＝宮古市・浄土ケ浜の第1駐車場

宮古市の観光地・浄土ケ浜で16日、ボンネットバス「浄土ケ浜号」の無料運行が始まった。

浄土ケ浜園地ではマイカーの乗り入れを規制しているため、観光客には心強い「足」の役割を果たす。浄土ケ浜号は、同市の依頼を受け県北自動車が走らせている。

ルートは、多くの観光客が駐車する「第1駐車場」を出発点に、青の洞窟さっぱ船遊覧の出発地そばの「マリンハウス分岐点」「奥浄土ケ浜」などを経て第1駐車場に戻る。

運行時間は午前9時から正午までと、午後1時から同5時までの時間帯で30分に1本のペースで運行する。

運行期間は10月30日まで。8月16日までは毎日運行するが、水曜はボンネットバス整備のため一般の貸し切り車両が走る。

8月20日から最終日までは土、日、祝日の運行となる。

関西から温か 応援たこ焼き

宮古の救護施設

そろいのTシャツでたこ焼きを調理する関西地方の救護施設職員ら

宮古市松山の救護施設松山荘（中村寿院長、利用者100人）に16日、関西地方の救護施設職員5人が訪れ、利用者に大阪名物のたこ焼きを振る舞った。

東日本大震災に伴う近畿救護施設協議会の慰問活動。「みんなでがんばっぺ」とプリントしたTシャツを着た5人がテントでたこ焼きなど180人分を調理し、利用者が笑顔で口に運んだ。

同施設は、震災で停電や断水、食料不足が続き普段の生活に戻るまで2週間かかったという。利用者で岩泉町出身の岩城信隆さん（58）は「余震でなかなか安心できなかった。普段食べないたこ焼きをみんな楽しみにしていた」と喜んだ。

同協議会は、総勢25人の慰問団で松山荘のほか福島、宮城県内の4施設を訪ねる。救護施設フローラ（大阪府東大阪市）の松田昌訓施設長は「利用者も職員も相当のストレスがあったと思う。少しでも喜んでもらえればうれしい」と目を細めた。

地域スポット

◆陸前高田に一関のヒーロー　被災地の子どもたちを元気づけるイベント「復興一関のヒーロー大集合」は10日、陸前高田市竹駒町の特設会場で開かれた。一関市の六魂戦隊ゲイビマンとドリームキッズ、クラウンろっくの3組が出演し、集まった親子ら約130人と楽しいひとときを過ごした＝写真。

イベントは今回のために結成したILH（いちのせきリトルヒーローズ）と、陸前高田市の子育て支援「ふれあいあゆっこ」の主催。

◆サーフィン連絡協、大船渡に義援金　全国のサーフィン関係団体で組織する日本サーフィン連絡協議会は6日、大船渡市を訪れ、同市三陸町の吉浜海水浴場の復興を願い義援金25万円を送った＝写真。

大槌町の浪板海岸でサーフショップを経営していたプロサーファーの杉本浩さん、サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン事務局の守山倫明顧問ら5人が市役所を訪れ、商工観光部の新沼秀人部長に「全国のサーファーからの願いです」と義援金を手渡した。

守山顧問は「海岸が美しければ人が来る。立地に合った環境整備を」と海岸再生への期待も述べた。

杉本さんらは同日、大槌町、釜石市、陸前高田市にも義援金を送った。

◆八戸で本紙記者が講演　八戸大・短大総合研究所主催の土曜講座は9日、八戸市三日町の街カフェみなとで開かれ、岩手日報社報道部次長の太田代剛記者が「東日本大震災―取材の現場から」と題して災害報道の体験を紹介した＝写真。

講座には市民ら約30人が参加。太田代記者は陸前高田市などの被災地や避難所での取材経験をスライドを使って報告しながら「自然災害には立ち向かう防災対策だけでなく、被害を軽減する知恵も大事だ」と述べ、減災の大切さを強調した。参加者からは「仮設住宅の住環境はどうか」「被災地の病院機能の現状は」などの質問があった。

同講座の後半は、八戸短大の山野内靖子講師が「災害時における家庭の看護」というテーマで実習を交えながら講義した。

東日本大震災 生活情報

陸前高田市　▼消防本部・消防署の電話（54・2119、54・2552）とファクス（55・2648）が復旧▼所得税確定申告・市県民税申告の受け付け開始9～16時、1日約200人▽19～22日モビリア▽25日～8月5日竹駒コミセン。30日（土）は休み。31日（日）は受け付ける▼生活雑貨・育児介護用品・衣料品など無料配布　17日9時半～11時半、13～15時小友小体育館で。午前は広田、小友、米崎、矢作地区が対象。午後は気仙、高田、竹駒、横田、住田町などが対象▼第2仮庁舎（国道340号沿い氷上橋付近）が業務開始　農林水産部、建設部、監査委、農業委、民生部が入る▼住宅被害見舞金　台湾仏教慈済基金会。住宅が全壊か大規模半壊、半壊の世帯に世帯人数に応じて3万～7万円を支給する。17日9～14時高田小で。未受領者が対象。問い合わせは同基金会日本支部03・3203・5651へ▼自動車廃車手続き出張窓口23日10～15時、米崎中で。車検証・実印・ナンバープレートなどが必要。全地区対象。

大船渡市　▼被災中小企業の店舗や工場などの修繕費補助　補助限度額は卸売業・サービス業・小売業200万円、宿泊業・製造業・建設業・運輸業など2千万円。市役所商工観光部商工観光物産課、大船渡商工会議所にある申請書に記入し、商工観光物産課に申請する。受け付けは9月16日までの平日8時半～17時。

釜石市　▼住宅被害見舞金　台湾仏教慈済基金会。住宅が全壊か大規模半壊、半壊の世帯に世帯人数に応じて3万～7万円を支給する。18日9～13時シープラザ2階で。未受領者が対象。問い合わせは同基金会日本支部03・3203・5651へ。

大槌町　▼災害弔慰金の集中相談　29日までの平日9～12時、13～16時大槌小1階で。当分の間1日60人とし、大槌小職員入り口で8時45分に整理券を配布する。罹災（りさい）証明書の写しと通帳の写しを持参。問い合わせは町福祉課42・8715へ▼住宅被害見舞金　台湾仏教慈済基金会。住宅が全壊か大規模半壊、半壊の世帯。1世帯当たり70万円が限度。問い合わせは市建築住宅課62・2111へ▼市税等の納期限・減免決定　問い合わせは▽固定資産税、市県民税および国民健康保険税＝税務課▽後期高齢者医療保険料＝総合窓口課▽介護保険料＝介護保険課（いずれも平日8時半～17時15分）。

山田町　▼住宅被害見舞金　台湾仏教慈済基金会。山田町で被災し、住宅が全壊か大規模半壊、半壊の世帯に世帯人数に応じて3万～7万円を支給する。17、18日山田町中央コミュニティセンターで。17日は9～16時、18日は9～12時。罹災（りさい）証明、身分証明、印鑑が必要。問い合わせは同基金会日本支部03・3203・5651へ▼岩手労働局出張相談会19日11～15時町中央公民館。

宮古市　▼住宅の応急修理申し込み期限8月1日まで延長　全壊、大規模半壊、半壊の世帯。1世帯当たり70万円が限度。問い合わせは市建築住宅課62・2111へ▼市税等の納期限・減免決定　問い合わせは▽固定資産税、市県民税および国民健康保険税＝税務課▽後期高齢者医療保険料＝総合窓口課▽介護保険料＝介護保険課（いずれも平日8時半～17時15分）。

山田町　▼住宅被害見舞金　台湾仏教慈済基金会。山田町で被災し、住宅が全壊か大規模半壊、半壊の世帯に世帯人数に応じて3万～7万円を支給する。17、18日山田町中央コミュニティセンターで。17日は9～16時、18日は9～12時。罹災（りさい）証明、身分証明、印鑑が必要。問い合わせは同基金会日本支部03・3203・5651へ▼岩手銀行山田支店八幡町出張所　現金自動預入支払機（ATM）による営業開始。平日9～18時、土日祝日9～17時。山田支店は19日から旧県立山田病院2階で営業再開▼災害弔慰金支給書類受け付け開始　町役場健康福祉課7番窓口で8時半～17時半。震災で死亡された方の遺族が対象。遺族の順位は配偶者、子、父母、孫、祖父母。支給額は250万か500万円。災害弔慰金支給調査票兼受領申出書、口座振込依頼書、支給対象者の身分証明書などが必要。問い合わせは健康福祉課福祉チーム（82・3111内線148、149、151）へ▼弁護士が事業所の相談に当たる「特別法律相談会」25日10～15時山田商工会館。毎週水曜日11～15時には、同会館で労働局と社会保険労務士による雇用労働相談会も実施。

田野畑村　▼生活相談会29日9～12時高校仮設団地集会場所、13～16時中学校仮設団地集会所。問い合わせは復興対策室へ。

その他

▼電話相談▽東日本大震災女性の心のケアホットライン・いわて（内閣府・もりおか女性センター・日本助産師会県支部など共同）10～17時。土日祝日も同じ時間帯で受け付け0120・240・261▽被災者向け無料傾聴「ハートダイヤルサービスWishウイッシュ」お客様窓口支援センター。15分だけの「聞き役」9～18時土日祝日も受け付け0120・810・558▽死別・離別の悲しみ相談ダイヤル　日曜10～20時と毎月11日の10～翌午前0時。0120・556・338▽岩手弁護士会＝土曜13～16時、0120・755・745▽県司法書士会　平日10～13時0120・823・815▽県社会保険労務士会　平日13～16時0800・800・56675▽日本ファイナンシャル・プランナーズ協会　無料相談毎日10～16時。0120・874・002▽県の災害廃棄物処理撤去相談ダイヤル・被災者やその家族らが対象で平日9～18時0120・250（ふっこう）・431（しんさい）。

▼漁業担い手募集　県漁連は17日13～16時、大船渡地区合同庁舎で漁業を目指したい人とベテラン漁師が面談する場を設ける。入場無料、事前申し込み不要。問い合わせは県漁連019・626・8082へ。

▼陸前高田市で活動する災害ボランティア募集　一関市災害ボランティアセンター主催。がれきの撤去、草刈り、泥出しなど。19、20日。募集は各20人。同市総合福祉センター（出発7時10分）に集合。昼食、飲み物、雨具、安全靴、身分証明書、着替えなど持参。問い合わせ・申し込みは同市社会福祉協議会0191・23・6020（8時半～17時）へ。

▼陸前高田市行きボランティアバス　いわて生協主催。20、23日の定員各40人。奥州市コープアテルイ駐車場6時45分発、一関コルザ7時25分経由の日帰り。昼食、飲み物、雨具、長靴か安全靴、軍手やマスクなどが必要。問い合わせ・申し込みは同生協019・603・8299へ。

▼大槌町行きボランティアバス　いわて生協主催。20、23日の定員各40人。家屋内外の片付け、がれきや泥の撤去、仮設住宅への引っ越し手伝いなど。問い合わせ・申し込みは同生協019・603・8299へ。

▼野田村で活動する災害ボランティア募集　二戸市災害ボランティアセンター主催。被災住宅の泥出し、がれき撤去、支援物資の整理など。23、26、30日。募集は各20人。昼食、飲み物、スコップ（可能なら）など持参。問い合わせ・申し込みは同市社会福祉協議会0195・25・4959へ。

▼山田町ボランティアバス参加者募集　滝沢村災害救援ボランティアセンター主催。がれきの撤去・運搬、泥出し、家財道具の運搬・清掃など。21、28日。スコップ、雨具、身分証明書、着替え、その他個人で必要なものを持参。定員40人。問い合わせ・申し込みは村社会福祉協議会019・684・1110へ。

▼震災遺児に返済不要の修学資金給付　財団法人高速道路交流推進財団は、震災遺児で小中高、高等専門学校、特別支援学校、専修学校、大学・短大の在校生を対象とした援助基金を設立し、1人年間28万2千円を給付する。在学証明書、住民票、戸籍謄本、所定の申込書などの郵送が必要。申し込み・問い合わせは同財団0120・768・660（平日9時半～17時半）へ。

県・沿岸市町村の連絡先

県災害総合相談窓口　019・629・6911

宮古市	0193・62・2111
大船渡市	0192・27・3111
久慈市	0194・52・2111
陸前高田市	0192・59・2111
	0192・54・2111
釜石市	0193・22・2111
	0193・22・8253
大槌町	0193・42・2111
山田町	0193・82・3111
岩泉町	0194・22・2111
田野畑村	0194・34・2111
普代村	0194・35・2111
野田村	0194・78・2111
洋野町	0194・65・2111

県警行方不明者相談ダイヤル

0120・801・471（平日9～17時）

交通情報の問い合わせ先

【鉄道】
▼ＪＲ東日本盛岡支社
ＪＲ東日本お問い合わせセンター050・2016・1600（6～24時）、ホームページhttp://www.jr-morioka.com/
▼ＩＧＲいわて銀河鉄道
ＩＧＲインフォメーション019・626・9151（8時半～17時）
▼三陸鉄道
0193・62・8900（9～18時）
【バス】
▼県交通
019・654・7755（平日9～17時）
▼県北バス
019・654・5814（平日9～18時）
▼ＪＲバス東北
盛岡支店019・624・4474（9～19時半）
▼岩手急行バス
0191・23・2542（6～21時）
【航空】
▼日本航空（ＪＡＬ）
国内線に関する問い合わせ
0570・025・071（7～20時）
▼フジドリームエアラインズ（ＦＤＡ）
コールセンター050・3786・0489（7～20時）
【高速道路】
▼ＮＥＸＣＯ東日本
お客さまセンター0570・024・024（24時間）

東日本大震災　義援金受け付け

◆岩手日報社窓口
本社と二戸、花巻、北上、奥州各支局と一関支社で。平日の午前10時～午後4時（土・日・祝日は除く）。
※口座名はいずれも「（株）岩手日報社」。同一銀行からの振り込み手数料は無料（窓口取り扱いのみ）。

◆銀行振り込み
▽岩手銀行本店（普）2135547
▽北日本銀行本店（普）7028487
▽東北銀行本店（普）3237448
▽盛岡信用金庫本店（普）0354142
▽東北労働金庫盛岡支店（普）5858584
▽岩手県信連本所（普）0027190

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。